読み切り小説!まだまだ続く第23回!!
！　『!誰がために!』

　私の名前は、大竹アマネ。愛をもって皆さんの生活を支援する介護支援専門員だ。今日も新しく担当になった花森ミツルさん宅へと伺ったのだが、そこには割れた花瓶を片づけているミツルさんの姿があった。幸いケガなどはなく、片づけを手伝いながら事情を聞いてみたものの**『私が悪いんです』**としか答えは頂けなかった。私は事態の解決を図るため近所に住む長女のシオリさん宅へと訪れたのであった。

アマネ「どうやら花瓶を割った人を庇っているようなのですが、誰か心当たりはいませんか？」
シオリ「そう言われましても…、１年前に脳梗塞を患ってからはひどい物忘れで私のこともわからなかったりしますし」
「そうですか。実を言うと私の心当たりは…貴女なのです」
「急に何を！？」
「ミツルさんと一緒に花瓶を片づけた際、チリトリはあるのにホウキが見当たりませんでした。そのことから、掃除中になんらかの事態が発生したのではないかと考えました。あの家で掃除をするのは貴女と訪問介護のハシダさんだけです。ミツルさんが庇うとしたら、貴女しかいませんよ」
「･･･確かに私がやりました。ただし父が庇っているのはハシダさんですけどね」
「どういうことですか？」
「掃除へ訪れていた私に対して父は**『ああ。ハシダさんか。いつもすまないね』**と言ったんです。忘れるだけならまだしも、赤の他人と間違えるなんてあんまりじゃないですか。頭に血が昇ってホウキを振り上げてしまったんです。そうしたら花瓶を割ってしまって…。怖くなって逃げてしまいました。父が庇っているのは私じゃないんですよ」
「…その時、貴女は緑色のエプロンをしていたのではないですか？」
「なんでわかったんですか！？」
「私が頂いた主治医意見書によると、ミツルさんは脳梗塞の後遺症で相貌失認という状態です。これは視覚機能を司る大脳の後頭葉が障害されることによって、目は見えるのに**顔の区別がつかなくなる**という症状です。ハシダさんの訪問介護は緑色のエプロンが印象的ですから勘違いしたのでしょう」
「そんな状態だったなんて…。でも、それならやっぱり庇っているのは…』
「相貌失認の方は、声や仕草で人を判別しています。おそらく貴女だと気づいたからこそ庇っているのですよ」
「お父さん･･･ごめんなさい。私はいったいどうすれば…」
「まずは、お二人が抱えている不安や悩みを話し合いましょう。お二人は家族なのですから。もちろん私もお手伝いします。私はミツルさんの介護支援専門員ですから」

　後日、ミツルさん宅ではある約束事が設けられた。それは決められた服装かわかりやすい名札を身につけるというもの。ミツルさんからのプレゼントであるピンク色のスカーフをなびかせてシオリさんは今日も掃除に精を出していることだろう。
「そろそろミツルさんのお宅へ訪問する時間だな」
私は、手作りした大きなハート型の名札を胸へと付ける。
やっぱり大切なのは愛だよ。愛！

おわり

はれのひだから…
“祝!!敬老の日特別メニュー”

祝！敬老の日の昼食☆
敬老会も終了した翌日の「敬老の日」。
栄養課よりお祝いの気持ちを込めて「敬老の日の行事食」を提供させていただきました。
　献立は→もちろん手作りの「お赤飯」、海の幸・山の幸の「天ぷら」、しっかりとした味付けが絶妙な甘辛たれの「ブリの照り焼き」、錦糸卵を乗せた海老しんじょう入りの「煮物」、体に優しい「すまし汁」、めでたいめでたい「紅白ゼリー」でした。
　いつもよりもボリュームもタップリでしたが、みなさん残さず召し上がっていただきました。作った甲斐がありました！ありがとうございました！

　そうそう、この日のおやつはこれまためでたい「紅白饅頭」でした！
これからも行事食はもちろんのこと普段の食事にも栄養課一丸となって力を入れていきます。

文責：栄養課長　熊谷美央

次号の予告

・平成最後のお正月を迎えて「新たな年に思う」
・定着したかな?の クリスマス会
・注意警報!!ウィルス活動本格化!!
・縁起物の獅子が舞う etc.で2019年1月にお届けっ!!

ホップのように(編集後記)!:!第54回!!

はい、１０月です。涼しくなりましたね！本当っに夏は暑かったです。どうにか私も夏を乗り越えこの短い秋の楽しみ方を模索しているところです。さて、今号は行事をたくさん掲載しました。ご利用者の皆様に楽しんで頂けた様子が伝わったと思います。
次回はもう冬！？の１月にお会いしましょう！

発行責任者：ニューライフ湯河原施設長・小田隆男
編集責任者：三科敏隆　　編集：ニューライフ湯河原広報委員会
発行日：2018.10.09　　発行人：ニューライフ湯河原
湯河原町吉浜1906　phone:0465-60-1555

介護老人保健施設ニューライフ湯河原!presents

つばき

平成30年10月号
2018.autumn

　前回の「つばき」でもう今年中の驚きは粗方終わったのでは? くらいのことを書きましたが、まだまだ終わってなかったようです。９月の台風２１号の上陸に伴う甚大な被害、そして畳み掛けるように北海道での地震、と平成が最後の爪痕を遺そうとするかのような、人間の力の及ばない災害や、７月の法務大臣の義務の遂行のように、自分たちの手で平成の悪夢にけりを付けるような出来事もありました。あと７ヶ月、平成と言う時代が終わろうとしています。皆さんにとって平成はどのような時間でしたか? 次の時代に思いを馳せて平成最後の秋が、そして冬がやってきます。
　「つばき」も変わらない良さと、変わって行く楽しさを皆さんに送り続けるために頑張ります!!

去年は台風でさんざん…なので今年は「祝!敬老会!!2018」でリベンジだっ!!

9月16日（日）に第２６回敬老会を開催しました。台風が影響した昨年に続き、今年の敬老会も雨天開催となりました。式典では１１名の方々に長寿のお祝いをさせていただきました。今後も皆様に元気に過ごしていただけるよう、スタッフ一同かかわらせていただきたいと思っております。

催し物も大盛況でした！湯河原サックスクラブの皆様や真鶴中学校吹奏楽部の皆様には雨の中ご迷惑をおかけしてしまいましたが臨機応変な対応をしていただき、誠に感謝いたします。普段聞く事の無い楽器による生演奏はご利用者から非常に好評で「来年も聞きたい」とすでに楽しみにされている方も多いようです。

また、ニューライフは今年度、地域への情報発信に力を入れております。夏のお楽しみ会での災害時の当施設の役割についての説明・展示に続き、今回は理学療法士・富士ライフサポート様による健康講座・福祉機器の説明・展示をさせていただきこちらも大盛況でした。

悪天候で企画通りに進行出来ない中、こうして敬老会を無事に終えることが出来たのも参加していただいたご利用者、ご家族のご協力のおかげです。河野商店様やライフケアセンターよつば様、真鶴町社会福祉協議会様、株式会社健康館様、（株）茶利様、そして毎年多くのボランティアの方々のご協力を賜り感謝いたします。

第２７回敬老会は晴れる事を祈り、また皆様に楽しんでいただけるような会をお届けできたらと思います。最後に、この敬老会に協賛していただきました方々に感謝申し上げます。

協賛　青木精肉店様、相模ベンディング株式会社様、富士ライフサポート様 ありがとうございました。

文責　第26回敬老会実行委員長　三宅恵美子、長田夏美

今年はみんなで楽しむぞ!!「夏のお楽しみ会!2018」

７月２１日の土曜日に夏のお楽しみ会を開催しました。

今年は記録的な猛暑・酷暑日が続き夕方とはいえ屋外での開催は危険ではないかと?…なので当日、場所や時間の変更をして開催しました。

まずはリハビリ室にてサックスとフルートの演奏・バルーンアートの披露。その後、外に出て軽食タイム。そして今年はなんと！ご当地キャラクターの「ゆたぽんファイブ」のレッドこと「ふうた」の登場です。ゆたぽんファイブのテーマソングを子供達と一緒に踊りながら披露して頂き、ご利用者の方は楽しく観覧していました。恒例のドンパン節や炭坑節が行われ、お神輿の登場、毎年盛り上がるナイアガラ花火で締めとなりました。

また、当施設は災害時指定避難所、災害時福祉避難施設なのでニューライフ湯河原の役割を掲示し近隣の方々にも観覧して頂きました。

ご来所して頂いた多数のご家族の皆様、近隣の皆様のご参加、ご協力ありがとうございました。またご協賛いただきました青木精肉店さまに感謝いたします。

文責：夏のお楽しみ会2018実行委員長　田中 大寿

第40回…“時事(じぃじ?)コラム”～医療・介護報酬同時改定のその後～

今年の４月に医療・介護報酬同時改定があり、老健に関わる基本施設分類やリハビリテーションに関わる改定事項など以前ご紹介させていただきました。

また、老健以外の分野におきましても、療養型の再編に伴う介護医療院の創設も目新しいところでしたが、ここ神奈川県においてはまだ動きがないように見えます。ただ全国レベルでは着々と療養病床の縮小が進んでいたり、病院自体の閉院までも耳にすることもあります。

また、地域包括システムを推進するための保険者のやるべきことが明確になり、大慌てで取り組んでいる市町村が多いとは思いますが、いかんせん事業者間の温度差や、ましてや地域住民などのコンセンサス（意見の一致、理解）も不十分であり、課題は山積といった感じも否めません。それでも在宅医療・在宅介護は取り組まなければとは思います。

そんなうちの施設もこの１０月から「基本型+在宅復帰・在宅療養支援機能加算１」の施設体系から「在宅強化型」というワンランク上の施設体系に変更しましたことを報告いたします。文責：松岡秀典

Yugawara!Walker 湯河原ってこんなとこ “独歩の湯” 編!

皆さーん「独歩の湯」はご存知ですか？そうです２００１年に開設した万葉公園にある温泉の足湯施設です。湯河原をこよなく愛して頂いた「国木田独歩」にちなんで名づけられました。

独歩の湯には「足湯の泉」と言われる９種類の泉がありそれぞれ特色を持っています。

1.脾骨の泉 2.皮口の泉 3.平静の泉 4.腸鼻の泉 5.思考の泉 6.脈胃の泉 7.喜の泉 8.肝目の泉 9.腎耳の泉　となっていて腸鼻・肝目など人間の臓器の名前をつけた泉で足の裏のツボをマッサージし疲労回復や健康増進に役立つと言われています。例えば***1.脾骨の泉***は体内の内分泌と代謝異常、骨と関節と足のツボを刺激し、***8.肝目の泉***は肝臓と目に効果があると言われています。それぞれの泉の名称から皆さんも体のどこに効果があるか予想できることと思います。　独歩の湯には効果的な利用方法があります

1.足湯の中でゆっくり歩く　2.ぬるい所から入って色々試す　3.全部で６０分以上入湯する です。

カラスの行水では効果がなく時間が１番大切だそうです。さらにレストハウスの２階では馬油（ばーゆ）を使用した足のマッサージも受ける事ができます。こちらはオイルを使用するので施術後は独歩の湯へは入れませんのでご注意下さい。同じく２階には自動販売機コーナーがあって清涼飲料水、ビール、お菓子やカップラーメンなどを召し上がることもできます。写真からも分かるように木々に囲まれた自然の中にあるので視覚からのリラクゼーション効果も期待できます。そして、よく見ると日本列島がデザインされているのが分かりますか？施設内でマッサージの施術もあります！老若男女が楽しめる「独歩の湯」皆様もぜひ１度！　そうそう、ＨＰをたどって行くと割引券が発見できるかもしれませんよ！

“!独歩の湯”

住所⇒湯河原町宮上704　Phone⇒0465-64-2326
営業時間⇒10:00～18:00(ただし11月～2月は17:00閉園)
定休日⇒毎月末木曜日(祝日の場合はその前日)
料金⇒大人(15才以上):300円/小・中学生:200円
※休業日が変更になる場合もあります
独歩の湯公式ブログ
http://doppo555.blog108.fc2.com　でご確認ください

今年の「やっさ祭り」は!半端ないってよ!!

気持ちを込めて!!　連日の猛暑日が続く中、我がニューライフは今年もやっさ祭に参加しました。今回は特製Tシャツを作り、気合も十分。背中には上半期の流行語「半端ないって！」を背負っていざ出陣。結果は…（笑）

毎年沿道からの声援を大変うれしく思います。また、お祭り期間中、町を盛り上げて下さる自治体の方に感謝いたします。

来年も体力が続く限りやっさ祭に参加したいと思います。

文責：やっさ祭り参戦チーム 矢崎